

(様式1・小学校用①)

令和3年度 学校評価報告

草加市立長栄小学校
(令和4年2月22日作成)

| | |
|---|--|
| 1 学校教育目標 ○学校教育目標 よく考える子・思いやりのある子・たくましい子 (目指す児童像) ○目指す学校像 笑顔あふれる長栄小 ○学校経営方針 児童一人ひとりを大切に、豊かな心・学びに向かう力・たくましく生きる力を育む学校 | |
| 2 重点目標・努力目標 「新田中学校区の目指す15歳の姿」の育成 育成すべき資質・能力 ○思考・熟考(探究心) ○協同・協働(共生心) ○自立(自律心) | 3 前年度の成果と課題 成果 ○中学校区の15歳の姿に向け、3校・3園・1室で構成された幼保小中連絡協議会を核とした幼保小中一貫教育を推進することができた。 課題 ●コロナ禍における集団や体験的な活動の充実を図るための工夫した教育活動の実践。 |

| 4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である] | | | | |
|---|-------------------|---|----|---|
| 領域 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題 ○成果 ●課題 |
| I 学校運営に関するもの | ①組織運営 | ・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等 | B | ○コロナ禍における感染状況に応じた運営により、行事等における感染拡大防止とともに、教育活動の充実が図れた。 ○会議や打ち合わせ等においてICTを活用することで、感染拡大防止や協議時間の短縮となり、教職員の負担軽減ができた。 ●職員会議までの提案の流れを確立し、会議の効率化を図る。 |
| | ②研究・研修 | ・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成 | A | ○研究授業・研究協議を通し、教職員がPDCAサイクルを進め、授業の資的改善を図ることができた。 ○次年度に向けて組織的・計画的に研修を進め、研究の深化を図ることができた。 ●「総合的な学習の時間」・「生活科」等を核とし児童が主体的に学ぶカリキュラムの見直しを図る。 |
| | ③保健管理・安全管理 | ・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用 | B | ○昨年度の取組を参考にし、全職員共通理解のもと、その対策の徹底を図り、児童への感染拡大防止が図れた。 ○危機管理マニュアルを基にした緊急時の組織的対応について職員に周知・徹底ができ、安全管理ができた。 ●危機管理マニュアルを実効性のあるものとするため、地震・アレルギーなど項目ごと、職(立場)ごとに個別のマニュアルシートを作成し、適切に配置する。 |
| | ④情報管理・施設設備管理 | ・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用 | B | ○個人情報の適切な管理及び保護に向け、校内ルールを改善し、安全な管理の徹底が図れた。 ○施設設備の日常的な安全点検を実施し、施設の安全管理の徹底が図れた。 ●施設整備を充実させ、有効活用の推進を図る。 |
| | ⑤地域との連携 開かれた学校 | ・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化 | B | ○学校運営協議会・PTA等に本校教育活動の実施状況を情報提供することで、教育目標等への一定の理解が進み、コロナ対応などをはじめとする本校の取組に支援が得られた。 ●コロナ禍においても各家庭と意思疎通の図れる機会を工夫して設定し、信頼関係の構築を図る。 |
| | ⑥幼保小中を一貫した教育 | ・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり | B | ○中学校区3校・3園・1室で連携を図り、「新田中学校区の目指す15歳の姿」の実現に向け、幼保小中・幼保小・小中連絡協議会で協議を重ね、教育・保育の相互理解を図ることができた。 ●「生活科」・「総合的な学習の時間」を核とした横断的なカリキュラムを生かし、中学校区の連携をさらに深め、一貫教育の充実を図る。 |

| 領域 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題 ○成果 ●課題 |
|------------------|-----------------|---|----|--|
| II 教育活動に関するもの | ①教育目標・教育計画 | <ul style="list-style-type: none"> 1.5年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 | B | <p>○職員会議等を通し、「育成すべき資質・能力」を全職員に周知し、共通理解のもと児童の資質・能力の育成に向けて、教育活動を実践することができた。</p> <p>●コロナ禍における短縮日課や学級閉鎖を踏まえ、各学年の時数確保を適切に行えるように教育計画の見直しを図る。</p> |
| | ②教科指導 | <ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 | B | <p>○研修を生かし、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を各教科に反映させ、推進を図ることができた。</p> <p>●「総合的な学習の時間」の外部人材バンクを他教科にも広げ、外部人材活用の推進を図る。</p> |
| | ③道徳教育 | <ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 | A | <p>○これまでの研究の取組で培った指導方法や授業展開について共通理解を図り、教職員の授業力向上が見られる。</p> <p>●家庭や地域と共に児童の道徳教育の推進が図れる全体計画を構築する。</p> |
| | ④外国語・外国語活動 | <ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 | B | <p>○学級担任がALT、子ども教育連携教員・中学校教員と連携し指導方法の工夫と改善を図ることで、児童が英語に親しみ、楽しく活動することができた。</p> <p>●全児童が英語に親しみ、外国文化に触れることのできる指導計画の見直しを図る。</p> |
| | ⑤特別活動 | <ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 | B | <p>○望ましい人間関係を形成できるよう学級活動、学校行事を工夫して実施する中で、集団の一員として健全な生活態度を培うことができた。</p> <p>●学級活動や児童会活動で児童が主体的に考え、運営できる指導計画を立案する。</p> |
| | ⑥「総合的な学習の時間」の指導 | <ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 | A | <p>○今年度の指導計画に基づく授業実践を新しい学力観に照らして工夫・改善することができた。</p> <p>●地域の教育財産を積極的に活用し、学校で学んだことを地域に、地域で学んだことを学校の学びに生かす実践を推進する。</p> |
| | ⑦生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 | B | <p>○生徒指導委員会や特別支援教育委員会等で児童理解を図り、一人ひとりの特性に合わせた指導・支援ができた。</p> <p>●いじめ防止に向けた学校の取組を家庭や地域に発信し、理解を図るとともに未然防止、早期発見に向けた連携を図る。</p> |
| | ⑧キャリア教育 | <ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 | B | <p>○「キャリアパスポート」（特別活動）の取組により、児童一人ひとりのキャリア形成と自己実現への支援に向けた教職員の意識化を図ることができた。</p> <p>●キャリアパスポートを活用した家庭・地域との連携が図れる計画の見直しを図る。</p> |
| | ⑨特別支援教育 | <ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 | A | <p>○個別の指導計画・支援計画作成に確実に取組み、一人ひとりの児童の特性に応じたきめ細やかな指導の推進が図れた。</p> <p>●家庭・地域に特別支援教育理解を図る。</p> <p>●保護者に寄り添った相談ができるよう教職員一人ひとりのカウンセリングの技量を高める。</p> |
| | ⑩学校図書館教育 | <ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 | B | <p>○学校図書館の環境を整備することで、児童の図書館利用の促進や本を親しむ機会が増えた。</p> <p>●学年段階に合わせた本を親しむ指導計画の見直しを図る。</p> |
| | ⑪情報教育 | <ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 | A | <p>○タブレット活用の職員研修を計画的に実施することで、ICTの積極的・有効的な活用の推進が図れた。</p> <p>●情報モラル教育の推進に向けた研修機会を拡充する。</p> |
| | ⑫人権教育 | <ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 | B | <p>○校内研修を通して、人権感覚の育成に向けた教育計画の周知が図れた。</p> <p>●人権感覚育成プログラムの授業での活用の推進のため、人権教育の研修計画の見直しを図る。</p> |

| 領域 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題 ○成果 ●課題 |
|----------------|----------------------|--|----|---|
| Ⅲ 特色ある学校づくり | 「新田中学校区の目指す15歳の姿」の育成 | ・目指す15歳の姿に向けた幼保小中の交流・連携の充実 | B | ○中学校区3校・3園・1室で連携を図り、「新田中学校区の目指す15歳の姿」の実現に向け、幼保小中・幼保小・小中連絡協議会で協議を重ね、教育・保育の相互理解を図ることができた。 ●コロナ禍における集団活動や体験活動の制限を踏まえた育成すべき資質・能力が育つ教育活動の工夫を図る。 |
| | 「特別の教科 道徳」 | ・「長栄小の道徳」を活用した授業の充実 | A | ○「長栄小の道徳」に基づく研修を実施し、全教職員に共通理解がなされた。 ●家庭や地域と共に児童の道徳的実践力の育成に向けて全体計画を見直す。 |
| | 安心安全を実感できる学校 | ・子どもが主体的に考えて行動できる安全教育の充実 ・積極的生徒指導と教育相談体制の活用 | B | ○ルールを守る意義を踏まえ、児童が主体的に考え行動できる指導・支援の共通理解を図ることができた。 ●教育相談日の在り方を見直し、保護者が相談できる機会を整える。 |

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

○目指す学校像である「笑顔あふれる長栄小」に向け、全教職員が学校経営方針を理解し、学年・学級経営にあたることができた。児童一人ひとりを大切に、豊かな心・学びに向かう力・たくましく生きる力をはぐくむための授業改善を研修会等で学び合い、推進することができた。

○新田中学校区内の幼保小中で感染防止を踏まえた交流活動の実施しと、組織間の連携を図りながら、一貫教育を推進することができた。

○昨年度同様に感染防止対策と環境整備を積極的に進め、安全・安心な教育活動の充実に努めることができた。

6 次年度の改善策

○研究発表会に向け、幼保小中一貫した教育の更なる推進を図るため、幼保・小・中・保護者・地域との連携を一層深め、教育活動の充実を図っていきたい。

○タブレット等のICTを有効活用する研修計画を推進し、教職員の活用能力の高め、「わかる・楽しい」授業の充実を図る。

○児童が主体的に安全・健康について考え、行動できる安全・保健計画に向けて見直しを図る。